

令和2年度 第1回村上市総合計画（総合戦略）進捗検討会議での委員意見（10月8日開催）

（1）村上市総合戦略事業の実施状況について

個票No.	項目	意見の内容
I-16	村上牛生産振興対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も多くの生産者が繁殖牛の購入経費及び認定経費に係る補助事業を活用しており、市が村上牛の生産基盤の強化に向けて継続的に取り組んでいることについては、JAとしても大変ありがたく感じている。
I-20	林業担い手育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から林業に関心を持ってもらうきっかけづくりとして、林業チャレンジ事業は非常に良い取組だと感じている。また、林業担い手育成支援事業のKPIとしては、現行の市行造林・市有林の整備面積よりも、新規就業者数の方が適当ではないかと考える。

（2）第2期村上市人口ビジョン（案）について

項目	意見の内容
社人研による推計人口	<ul style="list-style-type: none"> 社人研による平成25年公表推計値と平成30年公表推計値を比較すると、子ども世代では好転すると推測されており、その要因を十分に分析することが必要と考える。
コロナ禍におけるリモートワークや地方移住への注目	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リモートワークや地方移住への注目が高まっており、これに関連する統計情報や市の施策について、人口ビジョンや総合戦略への記載が必要と考える。
地域学習の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 地域への愛着を持つことが将来的なUターン等のきっかけになるとの研究結果もあり、小学生から高校生などの段階で地域について学習する機会を設けることが非常に大切と考える。